

【取組内容①】 分類や・整理する力を育成する。 写真や動画を撮る力を発揮させる。

理科 学習指導略案

紀の川市立那賀中学校

- 1. 日時 令和5年(2023年)11月9日(木) 5限
- 2. 場所 理科室 3. 学年・組・人数 1年1組
- 4. 単元 「光・音・力による現象」—「光による現象」

5. 本時の目標と評価規準

- 本時の目標 異なる境界面での光の進み方について関係性を考察し、表現することができる。
- 本時の評価規準 異なる境界面での光の進み方について関係性を比較、検討し、表現することができる。

■情報活用能力について

- ・①写真や動画を撮る力を発揮させる。
- ・②フープソフト基本操作する力を発揮させる。

■活用したICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・学習ツール ・Web ブラウザ ・電子黒板

6. 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準
導入	前回の授業で、空気とガラスの間で光の進み方が変化していたことを思い出す。	前回の実験の写真などを見せ、どんな結果になっていたか具体的に思い出させる。	
展開	空気とガラスの間での光の進み方について調べる。 「入ってくる光(入射光)」、「境界面で折れ曲がる光(屈折光)」について確認する。 入射光と屈折光の間でできる角度に注目する。 Web サイトを用いて調べる。 (調べたものはスクリーンショットで記録しておく。)	実験の方法を説明する。 タブレットで写真を撮り、記録をしておくように指示する。 班のなかで担当を決めさせる。 ①空気→ガラス ②ガラス→空気 時間があれば他の条件の場合(水など)の場合も調べる。	実験結果から、異なる境界面での光の進み方について関係性を比較、検討し、表現することができる。
まとめ	ふり返りをかく。		



	空気 → ガラス に向かって進む時					
角A	10	20	30	40	50	60
角B	10	14	40	28	32	37
気づいたこと 10から60まではだんだん差が大きくなっている						